第4次石狩市地場企業等活性化計画 施策方針の進捗状況(平成29年度～令和2年度)

第1章 第4次計画の策定にあたって

4 計画の推進管理等

本計画の推進にあたり、市内経済関係団体等と連携し、各年度において本計画の施策方針の推進状況の把握・管理を行い、計画の円滑な推進を図ります。

また、計画の推進状況の検証結果や社会経済情勢の変化等を踏まえながら、「石狩市地場企業等活性化審議会」において計画見直しの必要性を検討し、必要に応じて計画の変更を行うものとします。

施策方針	取組状況	今後の課題
1. 石狩湾新港地域の活性化		
(1) 企業誘致の推進		
<p>企業訪問、首都圏等で開催される展示会など、様々な機会により、新港地域の優位性などの魅力を情報発信することにより、新港地域への企業誘致に努めます。</p>	<p>企業誘致の推進 【企業訪問】 首都圏を中心に訪問 H29 65社 H30 61社 R01 46社 R02 11社 【展示会等への出展/参加】 企業誘致フェアへの出展 H29 首都圏5回、中京圏1回、関西圏1回 H30 首都圏7回、中京圏1回 R01 首都圏6回、中京圏1回、関西圏1回 R02 首都圏4回、中京圏1回、オンライン出展5回</p>	<p>企業訪問や展示会等への出店を継続的に行った。 引き続き継続した活動行う。 ・立地条件の観点からポイントを絞った誘致活動が必要 ・近年においてはスーパーホテル、コストコホールセール、イオン物流センター等が新港地域へ進出 ・再エネ、バイオマス分野の今後の動向を注視</p>
(2) 事業拡大や事業継続の促進		
<p>立地後もコンタクトすることにより、本市行政等へのニーズを把握するとともに、丁寧なフォローアップに努め、既操業企業の事業拡大・設備投資を支援します。</p>	<p>事業拡大・継続の促進 【企業訪問】 道内企業を訪問 H29 85社(うち立地企業34社) H30 103社(うち立地企業32社) R01 86社(うち立地企業49社) R02 76社(うち立地企業31社) 【石狩市企業立地促進条例の活用】 固定資産税及び都市計画税の課税免除 H29 6社(新設:2社 増設:4社) H30 1社(増設) R01 1社(増設) 【石狩市地域未来投資促進条例の活用】 固定資産税及び都市計画税の課税免除 H30 3社(増設) R01 3社(増設) R02 12社(新設1件、増設11件) 【先端設備等導入計画の認定】 固定資産税の課税免除 H30 先端設備31台(新規29台、変更2台)、企業数17件を認定 R01 先端設備42台(新規33台、変更9台)、企業数23件を認定 R02 先端設備27台(新規13台、変更14台)、企業数12件を認定</p>	<p>引き続き進出企業の課題解決及び事業拡大につながるような取り組みを行う。 ・新港地域に立地したことによるメリットを引き続き既存企業へ提供することが必要 ・地域内はもとより地域外の企業との連携促進についても交流機会の拡大などが必要 ・交通アクセスに対する課題整理 ・慢性的な労働力及び人材不足への支援</p>

施策方針	取組状況	今後の課題
2. 地場企業等の経営基盤強化		
(1) 情報の提供及び組織等の強化		
<p>大学や公的試験研究機関、各種経済団体、国、近隣自治体との連携を積極的に図り、研究機関の有する情報、産業クラスターに関する情報、各種支援制度、先進成功ビジネス事例などについての提供を図るとともに、これらの情報等を必要とする企業等にタイムリーに提供する手法などを検討する。</p>	<p>情報の提供 【市HP、広報誌による情報提供】 H29～R02 随時実施</p>	<p>配信方法の検討をしつつ引き続き行っていく。 ・有効な情報発信手法の検討</p>
<p>市と市内経済団体における協働・連携を強化し、情報の共有を図り、地域経済活性化に向けた支援体制の強化を図るとともに、分野横断的な産業支援に努めます。</p>	<p>地域経済活性化に向けた支援 【石狩産業活性化連携会議の開催】 H29 石狩ブランド推進について 3回開催 【石狩商工会議所、石狩北商工会などと連携した取組みを実施】 H29～R02 商工業者に対する経営改善及び税務・金融等の指導を実施 【優良事業所等表彰により、市内事業所や従業員の表彰】 H29 事業所：5事業所 従業員：2名 H30 事業所：2事業所 従業員：1名 R01 事業所：3事業所 従業員：2名 R02 事業所：8事業所 従業員：4名</p>	<p>経済団体の実務担当者との意見交換による情報の共有と連携を引き続き行っていく。</p>
(2) 建設業への支援		
<p>既存住宅を社会資産として長期にわたり活用し続けるための「長寿命化リフォーム」を推進するため、リフォーム関連イベント等を支援します。</p>	<p>リフォーム関連イベントの支援 【いしかりリフォームフェスタの開催支援】 H29 出店11社 来場者1,546名 契約23件（契約金額2,656万円） H30 出店13社 来場者1,618名 契約46件（契約金額3,637万円） R01 16社が出店し開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止 R02 新型コロナウイルスの影響からチラシやWeb媒体を活用したキャンペーンを実施し、14社が参加し、51件の契約に繋がった。（契約金額3,557万円） 【空き家利活用促進事業】市内の空家を活用した支援 H29 27件（うちリフォーム分 26件 工事総額29,713,231円） H30 28件（うちリフォーム分 22件 工事総額20,381,842円） R01 26件（うちリフォーム分 23件 工事総額22,853,436円） R02 23件（うちリフォーム分 13件 工事総額10,118,720円）</p>	<p>リフォームフェスタによる一定の効果は見られた。今後も空き家対策、リフォーム助成、移住促進等と関連した支援を検討</p>
<p>総合評価落札方式の試行の拡大、公共工事発注の平準化や小規模修繕契約希望者登録制度のさらなる活用促進を図ります。</p>	<p>建設業への支援 【総合評価落札方式の試行】入札参加者の施工能力、社会的貢献度等と入札価格を一体として評価し実施 H29 4件 H30 4件 R01 4件 R02 4件 【小規模修繕契約希望者登録制度の活用促進】市が発注する50万円以下の小規模な修繕の契約について、市内事業者の受注機会の確保を行った H29 登録制度による実績 154件 14,872,774円 H30 登録制度による実績 195件 22,454,025円 R01 登録制度による実績 149件 13,337,726円 R02 登録制度による実績 95件 11,180,498円</p>	<p>総合評価落札方式の評価を行いつつ継続して実施 小規模修繕契約希望者登録制度の継続により小規模事業者への受注機会の確保を行う。</p>

施策方針	取組状況	今後の課題
<p>(3)金融支援等の強化</p> <p>制度融資、政策金融機関の融資などについて、適切な情報提供を図るとともに、実際に融資を受けようとする事業者のニーズ把握手法や、市の制度融資のさらなる改善に向けた検討を進めます。</p> <p>市と市内経済団体が連携し、新事業創出、販路拡大などにも対応した経営相談体制の充実を図ります。</p>	<p>情報提供</p> <p>【市HP、広報誌による情報提供】 H29～R02 随時実施</p> <p>【中小企業特別融資資金及び利子補助制度による支援】 H29 新規貸付61件 609,100,000円（運転：57件・設備：4件） 利子補助金247件 4,021,579円 H30 新規貸付40件 376,500,000円（運転：35件・設備：5件） 利子補助金284件 4,656,369円 R01 新規貸付33件 395,500,000円（運転：27件・設備：6件） 利子補助金293件 4,228,698円 R02 新規貸付9件 104,570,000円（運転：7件・設備：2件） 利子補助金251件 8,139,808円 R2は新型コロナウイルスの影響を受けた事業者に対する融資制度の利用が多かったため、市の新規貸付は少なかった</p> <p>市内経済団体との連携</p> <p>【石狩商工会議所及び石狩北商工会との連携した経営相談等の実施】 H29～R02 随時実施 令和2年1月29日～石狩商工会議所で新型コロナウイルスに関する経営相談窓口開設</p> <p>【石狩金融機関等担当者意見交換会の開催】 H29 1回開催 H30 1回開催 R01 1回開催</p> <p>【石狩市産業活性化連携会議の開催】（再掲） H29 3回開催</p>	<p>市内事業者の資金繰り支援として一定の効果は見られた。</p> <p>・国や道などの様々な資金支援策の情報提供や金融機関との意見交換を行いながら、支援策の検討を行う</p> <p>引き続き経済団体への支援及び金融機関との意見交換を行いながら、支援策の検討を行う</p>
<p>(4)人材の育成支援</p> <p>事業者、被雇用者、未就業者などを対象としたセミナー等人材育成事業の実施や、関連機関が実施する人材育成事業の情報提供を図るとともに、対象者への的確な周知方法の検討を進めます。</p>	<p>人材の育成支援</p> <p>【高校生就職支援セミナーの開催】 H29 2回開催し、延べ84名が参加 H30 2回開催し、延べ86名が参加 R01 2回開催し、延べ80名が参加 R02 2回開催し、延べ93名が参加</p> <p>【若手スキルアップセミナーの開催】 H29 3回開催し、延べ59名（29社）が参加 H30 3回開催し、延べ61名（32社）が参加 R01 2回開催し、延べ26名（7社）が参加 R02 2回開催し、延べ30名（9社）が参加</p> <p>【管理職向けコーチング研修の開催】 H29 1回開催し、延べ16名（11社）が参加 H30 1回開催し、延べ15名（10社）が参加 R01 2回開催し、延べ29名（12社）が参加 R02 2回開催し、延べ32名（10社）が参加</p>	<p>一定の需要のある事業であることから、内容を精査したうえで継続検討</p> <p>・高校生の就職率の向上、若手社員の早期離職率の低下を目指す</p>

施策方針	取組状況	今後の課題
<p>石狩市季節労働者通年雇用促進協議会とも連携し、市内被雇用者等の通年雇用化に向けた各種方針について検討します。</p>	<p>石狩市季節労働者通年雇用促進協議会との連携 【事業所向け通年雇用促進セミナーの開催】 H29 1回開催し、13事業所（14名）が参加 H30 1回開催し、11事業所（14名）が参加 R01 1回開催し、16事業所（20名）が参加 R02 コロナの影響から開催中止 【季節労働者向け就職支援セミナーの開催】 H29 1回開催し、15名が参加 H30 1回開催し、15名が参加 R01 1回開催し、16名が参加 R02 コロナの影響から開催中止 【通年雇用化技能講習の支援】 H29 7名が受講（建設系） H30 16名が受講（建設系・その他） R01 2名が受講（建設系・その他） R02 2名が受講（建設系・その他） 【合同企業就職説明会の開催】 H29 1回開催し、24社が参加し、48名が来場 H30 1回開催し、24社が参加し、30名が来場 R01 コロナの影響から開催中止 R02 コロナの影響から開催中止し求人情報誌を配布 【就業アドバイザー配置による就職相談】 H29 相談者数165人 就職者数40人 H30 相談者数217人 就職者数60人 R01 相談者数140人 就職者数42人 R02 相談者数173人 就職者数59人</p>	<p>季節労働者が減少傾向にあるが、国の動向を見ながら継続 ・通年雇用セミナーの内容、周知方法の検討 ・資格取得者への通年雇用化の支援 ・合同企業就職説明会の内容、周知方法の検討</p>
<p>(5)労働力確保への支援</p>		
<p>労働力確保に向けた支援制度などの情報提供を図るとともに、関係機関とも連携し、学生、アクティブシニア、さらには主婦層など多様な労働力の確保に努めます。</p>	<p>労働力確保対策 【ジョブガイドいしかりの運営】 H29 相談件数3,110件 就職件数 444件 H30 相談件数2,839件 就職件数 377件 R01 相談件数2,896件 就職件数 390件 R02 相談件数4,591件 就職件数 260件 【シルバー人材センターへの支援】 H29 会員数 345人 受注実績166,077千円 H30 会員数 353人 受注実績170,807千円 R01 会員数 357人 受注実績167,917千円 R02 会員数 337人 受注実績168,514千円 【空き家利活用促進事業】（再掲） H29 27件（うち市外からの利用 17件） H30 28件（うち市外からの利用 19件） R01 26件（うち市外からの利用 19件） R02 23件（うち市外からの利用 17件） 【石狩市ものづくり企業見学・交流会の実施】 石狩商工会議所と北海道石狩振興局が合同で大学生と企業との見学・交流会を開催（R2より石狩商工会議所の単独開催） H29 3回開催し、延べ25人の学生・教員が参加し6企業の見学を実施 H30 4回開催し、延べ173人の学生・教員が参加し9企業の見学を実施 R01 3回開催し、延べ124人の学生・教員が参加し8企業の見学を実施。 R02 石狩商工会議所が開催した事業への支援を実施。2回開催し、延べ110人の学生・教員が参加し10企業の見学を実施</p>	<p>ジョブガイド、シルバー人材センターへの支援を継続 高校生・大学生を対象とした事業等の継続実施（経済団体との連携）</p>

施策方針	取組状況	今後の課題
	<p>【市内高校の学生を対象とした企業見学会及び合同企業説明会の実施】 R02 石狩商工会議所が市内高校の学生を対象とした企業見学会の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響から中止</p> <p>【ワークライフバランスセミナーの開催】 H29 1回開催 16名参加</p> <p>【クラウドソーシングに係るワーカー育成研修】 H29 7回開催し、延べ54名が参加 H30 8回開催し、延べ55名が参加 R01 6回開催し、延べ19名が参加</p> <p>【ママインターンの実施】 H29 2事業者で延べ3名がインターンを実施</p> <p>【働き方改革×地方の人材確保セミナーの開催】 H29 17名参加</p> <p>【起業はじめてサポート講座の開催】 H30 46名参加</p> <p>【地場企業労働力ニーズ調査を実施】 H29 市内1,301事業所を対象に調査を実施し、105事業所から回答を得た。うち31事業所に対し個別ヒアリングを実施</p> <p>【マルチワークの実施】 過疎地域の労働者や後継者確保のための実証実験 H29 浜益区内の2事業所で計2名の外国人大学生を1ヶ月間、住込にて受け入れた H30 浜益区内の2事業所で計4名の道外大学生を1ヶ月間、住込にて受け入れた R01 浜益区内の2事業所で計16名の道外大学生を1ヶ月間、住込にて受け入れた</p> <p>【就労型課題解決インターンの実施】 R02 大学生が約1か月間厚田・浜益地区に滞在し、就業体験のなかで若者の視点や発想を活かした北部地域の事業者の課題解決及び魅力化施策を行うため、石狩北商工会と連携し実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響から中止</p>	
<p>近年増加傾向にある技能実習生を含めた外国人労働力の受入環境の整備について、国等の動向を踏まえ検討します。</p>	<p>外国人労働力受入環境整備の検討</p> <p>【外国人労働者実態調査の実施】 R02 事業者向け調査：300件 労働者向け調査：197件</p> <p>【外国人介護技能実習促進補助金】 R02 3事業所（6名）に対し受入れ費用の一部補助を行った</p>	<p>R2外国人労働調査の結果では、コミュニケーションや生活習慣・文化のギャップが課題であるとの意見が労働者及び事業者双方からあったほか、事業者からは「制度の情報発信や日本語教育の支援」、労働者からは「相談窓口の情報提供や地域との交流」の要望があった。こうした調査結果などを踏まえ支援策等の検討を行っていく。</p> <p>参考：外国人数 H30.3 333人 H31.3 384人 R02.3 466人 R03.3 532人</p>

施策方針	取組状況	今後の課題
<p>(6)小規模企業者への支援 小規模企業者の経営安定に向け、市内外の関係機関と連携して経営指導を行ったり、必要な人材の育成や誘致など経営体質の強化に努めます。</p>	<p>商工会議所及び商工会と連携した支援 【石狩商工会議所との連携】 H29 融資斡旋件数：85件 経営指導件数：1,686件（巡回・窓口） 記帳継続指導件数：452件 H30 融資斡旋件数：66件 経営指導件数：1,297件（巡回・窓口） 記帳継続指導件数：450件 R01 融資斡旋件数：47件 経営指導件数：1,442件（巡回・窓口） 記帳継続指導件数：450件 R02 融資斡旋件数：18件 経営指導件数：1,214件（巡回・窓口） 記帳継続指導件数：451件 【石狩北商工会との連携】 H29 融資斡旋件数：0件 経営指導件数：512件（巡回・窓口） 記帳継続指導件数：309件 H30 融資斡旋件数：3件 経営指導件数：473件（巡回・窓口） 記帳継続指導件数：216件 R01 融資斡旋件数：1件 経営指導件数：542件（巡回・窓口） 記帳継続指導件数：227件 R02 融資斡旋件数：5件 経営指導件数：516件（巡回・窓口） 記帳継続指導件数：235件</p> <p>事業承継の円滑化 【相談体制の確保】 H29～R02 石狩商工会議所、石狩北商工会、北海道中小企業総合支援センターとの連携し随時実施</p>	<p>継続して支援 商工会議所及び商工会と連携し新たな取り組みを検討</p> <p>今後も第三者への承継も含め、一定の支援需要が見込まれることから、経営者の意向やニーズを把握しながら、「北海道中小企業総合支援センター」や国が新たに設置した「北海道事業承継・引継ぎ支援センター」と連携し支援していく</p>

施策方針	取組状況	今後の課題
<p>(7)後継者対策の強化</p> <p>市内外の関係機関と連携し、後継者の確保が特に難しい市内中小企業が必要とする人材のニーズ把握に努めるとともに、UIJターンを含め地方での就業を望む学生を含めた若者とのマッチング支援を行うなど、後継者の確保に努めます。</p>	<p>後継者対策</p> <p>【地場企業労働力ニーズ調査」を実施】（再掲） H29 市内1,301事業所を対象に調査を実施し、105事業所から回答を得た。うち31事業所に対し個別ヒアリングを実施し、後継者不在の12事業所から現状や今後の展望等の聞き取りを行った</p> <p>【石狩市ものづくり企業見学・交流会の実施】（再掲） 石狩商工会議所と北海道石狩振興局が合同で大学生と企業との見学・交流会を開催（R2より石狩商工会議所の単独開催） H29 3回開催し、延べ25人の学生・教員が参加し6企業の見学を実施 H30 4回開催し、延べ173人の学生・教員が参加し9企業の見学を実施 R01 3回開催し、延べ124人の学生・教員が参加し8企業の見学を実施。 R02 石狩商工会議所が開催した事業への支援を実施。2回開催し、延べ110人の学生・教員が参加し10企業の見学を実施</p> <p>【市内高校の学生を対象とした企業見学会及び合同企業説明会の実施】（再掲） R02 石狩商工会議所が市内高校の学生を対象とした企業見学会の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響から中止</p> <p>【マルチワークの実施】（再掲） 過疎地域の労働者や後継者確保のための実証実験 H29 浜益区内の2事業所で計2名の外国人大学生を1ヶ月間、住込にて受け入れた H30 浜益区内の2事業所で計4名の道外大学生を1ヶ月間、住込にて受け入れた R01 浜益区内の2事業所で計16名の道外大学生を1ヶ月間、住込にて受け入れた</p> <p>【移住支援金】 R1に地場産業の担い手不足に対処するため、首都圏から市内に移住し、就業又は起業した世帯に対して国及び道と連携し、支援金を交付事業を創設 R01 交付実績1件60万円 R02 交付実績0件</p>	<p>商工会議所で実施している産学連携事業の継続 国・道と連携した移住支援金事業の継続</p>
<p>(8)創業・起業等への支援</p> <p>市内における創業・起業活動を促すため、関係機関とも連携した相談体制を確立するとともに、創業・起業に向けた各種セミナーの開催など創業・起業しやすい環境づくりに努めます。</p>	<p>創業・起業等の支援</p> <p>【創業・企業ワンストップ窓口の開設】 H29 創業に向けた相談者へ支援を行い、4名が創業に繋がった。 H30 創業に向けた相談者へ支援を行い、1名が創業に繋がった。 R01 創業に向けた相談者へ支援を行い、1名が創業に繋がった。 R02 創業に向けた相談者へ支援を行い、1名が創業に繋がった。</p> <p>【創業・企業スタートアップセミナーの開催支援】 H29 セミナーの開催（1回開催、参加者19名） H30 セミナーの開催（1回開催、参加者2名） R01 セミナーの開催（2回開催、参加者6名） R02 セミナーの開催（1回開催、参加者1名）</p> <p>【移住支援金】（再掲） R1に地場産業の担い手不足に対処するため、首都圏から市内に移住し、就業又は起業した世帯に対して国及び道と連携し、支援金を交付事業を創設 R01 交付実績1件60万円 R02 交付実績0件</p>	<p>創業支援等事業計画（H27～）に基づき商工会議所及び商工会と連携し継続実施</p>

施策方針	取組状況	今後の課題
<p>新規事業の立ち上げや新商品の開発などに対し、融資以外での資金調達手法として「クラウドファンディング」を活用できる環境の整備に努めます。</p>	<p>クラウドファンディング活用環境の整備 【マッチング支援】 H29 市内の民間個人事業主とクラウドファンディング運営会社である㈱CAMPFIREとのマッチングサポートを実施 【クラウドファンディングの活用に向けたワークショップ等の開催】 H29 ワークショップ及びセミナーを計4回開催（うち1回は会議所のセミナーの中で実施）。4回で延べ83名が参加</p>	<p>クラウドファンディングは資金調達方法の1つではあるが、今後新たな手法も想定したなかで、支援方法を検討。</p>
<h3>3.石狩のブランド力向上</h3>		
<h4>(1)地産地消の推進</h4>		
<p>各種イベントや認証事業の実施、直売所や道の駅等で積極的に展開するとともに、地域通貨の活用を検討するなど、地場産財の地域内流通の取り組みを推進します。</p>	<p>地産地消の推進等 【「いしかり地産地消の店」認証事業】 H29 認証41事業者（新規認証5件、取消4件）。キャンペーン事業として、バスツアーを実施し、35名の参加。ガイドマップを10,000部作成し、認証事業者及び市内公共施設にて配布 H30 認証40事業者（新規認証1件、取消2件）ガイドマップを配布し、周知を行った R01 認証43事業者（新規認証3件、取消0件）HPやガイドマップにより周知を行った R02 認証45事業者（新規認証2件、取消0件）HPやガイドマップにより周知を行った 【まるごとフェスタの開催支援】 H29～H30 H30は地震により中止 【三大秋祭りの開催支援】 H29～R02 R02は新型コロナウイルスの影響から中止 【あぐりフェスタの開催支援】旬の農産物を用いた食や体験を通じて魅力発信を行うことを目的に石狩さけまつりと同時開催 R01～R02 R02は新型コロナウイルスの影響から中止 【道の駅あいろーど厚田に地場産品販売所を開設】 H30～R02</p>	<p>市内のみならず、道央圏における地域内流通を促進するため、道の駅石狩やとれのさとを核とした地場産品販売の取り組みを行っていく。</p>
<h4>(2)特産品の知名度向上活動の推進</h4>		
<p>地場産財の知名度が向上するよう、様々なコンテンツを活用して地域内外において継続的なPR活動を推進するとともに、各種認証制度の活用などを検討します。</p>	<p>地場産財の知名度向上 【市外ホテルとの連携】 H29～R02 ホテルオークラ札幌と連携し、市内の果樹を活用した期間限定オリジナルスイーツの販売をサポート 【道外百貨店等との連携】 H29～R02 高島屋大宮店、柏店などの道外百貨店と連携した地場産品の販売をサポート 【中学生との連携】 H29～R01 中学生の修学旅行時に「北海道どさんこプラザ有楽町店」にて地場産品のPRを行った 【道の駅あいろーど厚田を核としたPR活動の実施】 H30～R02 店頭やホームページ、民間情報誌、ECサイト等によるPRを実施 【ふるさと納税との連携】ふるさと納税の返礼品として、地場産品を提供。 H29 返礼品180品目のうち約9割が地場産品 H30 返礼品180品目のうち約9割が地場産品 R01 返礼品220品目のうち約9割が地場産品 R02 返礼品380品目のうち約9割が地場産品</p>	<p>民間主導の新商品開発は活発に行われていることから、知名度向上やブランド力向上に向けた支援を行う ・動画サイト及び通販サイト（ECサイト）の認知度向上 ・「北のハイグレード」等の認証制度を活用し、知名度向上につなげる</p>

施策方針	取組状況	今後の課題
<p>国内にとどまらず、海外への特産品輸出に向けたPR活動などの取組みについても検討します。</p>	<p>輸出に向けた取組検討 【海外進出飲食店との連携模索】 H29 シンガポールなどで店舗を構える企業と連携し、店舗での「石狩フェア」を企画したが、最終的には条件が合わずに断念した 【海外輸出に向けた情報提供】 H29～R02 北海道国際流通機構からの海外取引等の情報提供を随時実施 【米の輸出支援】 H30 中国向け輸出精米工場として新港地区にあるホクレンパールライス工場が指定</p>	<p>北海道国際流通機構やさっぽろ連携中枢都市圏での取組等を引き続き活用</p>
(3) 特定地場産財の指定制度の検討		
<p>地場産財の抽出方法、特定地場産財の位置付け、支援方法、波及効果を高める仕組みなど、ブランド化に関連する指定制度設計を検討するとともに、関係機関とも連携し、制度にふさわしい特産品の開発にも取り組みます。</p>	<p>ブランド化に向けた制度設計・特産品開発 【道の駅オープンに向けた新たな特産品開発サポートの実施】 H29 石狩市産業活性化連携会議において、浜益区内の果樹を活用した新たな土産品「100年りんごのラングドジャ」を開発した 【地場産品魅力アップセミナーの開催】 H29 地場産品の魅力アップに向け、パッケージデザインによる商品力強化を目的とした「地場産品魅力アップセミナー」を開催し、27名が参加 H30 「地場産品等情報発信力向上セミナー」（参加者27名） 「地場一次産品等販路拡大セミナー」（参加者18名） 「地域の地場産品魅力アップセミナー」（参加者13名） 「味、香りを軸とした地域産品魅力UPセミナー」（参加者23名） R01 「地場産品魅力アップセミナー」（参加者87名） 新型コロナウイルスの影響から3回計画し2回中止 R02 新型コロナウイルスの影響から中止 【さっぽろ連携中枢都市圏を対象とした専門家派遣事業】 R02 プロダクトデザイナー派遣事業による専門家派遣 1事業者</p>	<p>道の駅、とれのさとを販路とした、民間活力による商品開発は活発に行われていることから、独自の指定制度の必要性和ニーズの把握をし、検証していく</p>
(4) 販路拡大への支援		
<p>地場産財を国内外のバイヤーや消費者へ直接訴求するイベント（アンテナショップ、見本市、ビジネスマッチングイベント、商談会など）への出展等を支援するなど、地産外消（地産外商）に積極的に取り組みます。 地場産財のブランド化から販路拡大まで一貫して取り組むため、物産機能の強化についても併せて検討します。</p>	<p>地産外商の推進 【市外ホテルとの連携】（再掲） H29～R02 ホテルオークラ札幌と連携し、市内の果樹を活用した期間限定オリジナルスイーツの販売をサポート 【道外百貨店等との連携】（再掲） H29～R02 高島屋大宮店、柏店などの道外百貨店と連携した地場産品の販売をサポート 【商談会への参加】 H29～R02 北海道貿易物産振興会が主催する商談会などに参加し、地場産品のPRサポートを行った 【地場産品魅力アップセミナーの開催】（再掲） H29 地場産品の魅力アップに向け、パッケージデザインによる商品力強化を目的とした「地場産品魅力アップセミナー」を開催し、27名が参加 H30 「地場産品等情報発信力向上セミナー」（参加者27名） 「地場一次産品等販路拡大セミナー」（参加者18名） 「地域の地場産品魅力アップセミナー」（参加者13名） 「味、香りを軸とした地域産品魅力UPセミナー」（参加者23名） R01 「地場産品魅力アップセミナー」（参加者87名） 新型コロナウイルスの影響から3回計画し2回中止 R02 新型コロナウイルスの影響から中止 【スーパー等との連携】 R01 イオンと連携し、ひまわりロードと呼ばれる留萌・北竜と共にイオン緑苑台店にて物産展を開催 R02 イオンと連携し、イオン緑苑台店及び発寒店にて物産展を開催</p>	<p>新たな販路開拓や継続的な出展機会の確保、バイヤー等との関係の構築を行うため、農協や漁協との連携を行っていく さっぽろ連携中枢都市圏での取組を活用した取組を検討</p>

施策方針	取組状況	今後の課題
<p>(5)ふるさと納税の推進</p> <p>地場産財の普及・啓発を目的に、ふるさと納税の返礼品として地場産財の提供を通じ、地場産財の販路拡大や知名度向上、さらには地場産財のブランド化を推進するとともに、新たな石狩ファンの創出に努めます。</p>	<p>ふるさと納税の推進</p> <p>【ふるさと納税の返礼品として、地場産品を提供】</p> <p>H29 返礼品180品目のうち約9割が地場産品 件数：4,139件 寄付金額：61,631,020円</p> <p>H30 返礼品180品目のうち約9割が地場産品 件数：3,745件 寄付金額：63,825,000円</p> <p>R01 返礼品220品目のうち約9割が地場産品 件数：5,389件 寄付金額：135,124,000円</p> <p>R02 返礼品380品目のうち約9割が地場産品 件数：13,461件 寄付金額：365,000,000円</p>	<p>新港企業などにある「新たな地場産財」の掘り起こしを行うことが必要</p>
<p>4.地域コミュニティの活性化</p>		
<p>(1)地域商店街の活性化</p> <p>新港地域への就業者（市外からの就業者）や観光客など新たな購買層への情報発信に努めるとともに、購買層の受入側となる商店街などの魅力の向上を目指し、関係機関と連携して取り組みます。</p> <p>地域内での経済循環を促すことにより、商店街の活性化を目指します。</p>	<p>商店街の魅力化</p> <p>【大学生インターン受入による商店街魅力化プロジェクトの実施】</p> <p>H29 市内の花川中央商店街振興組合をモデルとし、道内外、海外を含めた12名の大学生を約1ヶ月間インターンさせ、商店街関係者と連携して商店街の魅力化に取り組んだ。（就業体験、魅力化に向けたイベントの企画運営、商店街魅力化プランの策定）</p> <p>H30 市内の花川中央商店街振興組合、石狩ニューポート商店会、若葉通り商店街で、道内外6名の大学生を約1ヶ月間インターンさせ、商店街関係者と連携して商店街の魅力化に取り組んだ。（就業体験、魅力化に向けたイベントの企画運営、商店街魅力化プランの策定）</p> <p>R01 市内の花川中央商店街振興組合、石狩ニューポート商店会、若葉通り商店街で、道内外、海外を含めた9名の大学生を約1ヶ月間インターンさせ、商店街関係者と連携して商店街の魅力化に取り組んだ。（就業体験、魅力化に向けたイベントの企画運営、商店街魅力化プランの策定）</p> <p>【「まちゼミ」の開催に向けた勉強会の実施】</p> <p>H30 「まちゼミ」創始者である松井洋一郎氏を講師に招き、勉強会を実施し、先行して開催している小樽市の「まちゼミ」を視察</p> <p>R01 「まちゼミ」創始者である松井洋一郎氏を講師に招き、勉強会を実施</p> <p>R02 「まちゼミ」創始者である松井洋一郎氏を講師に招き、勉強会を実施</p> <p>石狩ハイスタンプ会への支援及び連携</p> <p>【ボランティアポイント制度の実施】</p> <p>H29～R02 実施</p>	<p>まちゼミの定着に向けた支援 新たな購買層として、若年層や新港地域の就業者向けの情報発信及びPR方法の検討</p>

施策方針	取組状況	今後の課題
<p>(2)異業者等の連携</p> <p>新港地域内外との交流、新規立地企業と既存企業との交流、異業種交流、産学官連携や農工商連携など多様な連携を推進し、経済活動に有益な情報共有や、地域内取引関係の強化をはじめ、新商品、新技術の開発、既存商品のブラッシュアップによる付加価値向上などを目指し、各種交流会を開催するなど「場」の提供、さらには人材の育成に努めます。</p>	<p>異業者等の連携</p> <p>【「石狩イコロの会」の運営支援】</p> <p>H29 例会を3回延べ103名、大交流会を1回104名が参加し、情報交換及び交流を行った</p> <p>H30 例会を3回延べ86名、大交流会を1回90名が参加し、情報交換及び交流を行った</p> <p>R01 例会を3回延べ89名、大交流会を1回88名が参加し、情報交換及び交流を行った</p> <p>R02 コロナの影響から例会及び大交流会は開催できなかったが、会員間の情報交換をメール配信により行った</p> <p>【石狩新港地域立地企業交流会の開催】（石狩商工会議所主催）</p> <p>H29 新港地域立地企業62社（92名）が参加し、視察及び交流を行った</p> <p>H30 新港地域立地企業等48社（70名）が参加し、視察及び交流を行った</p> <p>R01 新港地域立地企業等65社（117名）が参加し、視察及び交流を行った</p> <p>R02 コロナの影響から開催できなかった。</p> <p>【市内商業者による「まちゼミ」の開催に向けた支援】</p> <p>R01 「まちゼミ」を1回開催し、17店舗が20講座を開催し、167名が受講した。</p> <p>R02 「まちゼミ」を1回開催し、14店舗が18講座を開催し、127名が受講した。</p>	<p>「石狩イコロの会」の取り組みや新港企業とのマッチング等を引き続き支援</p>
<p>(3)コミュニティビジネスの推進</p> <p>地域の課題に対応したコミュニティビジネス促進及びそれに関わる人材の育成や活用について検討します。</p> <p>コミュニティビジネスの推進により、商店街・地域住民・福祉事業者等が連携し、地域コミュニティの活性化を図ります。</p>	<p>コミュニティビジネスの推進</p> <p>【市民活動情報センターの設置】</p> <p>H29～R02 市民がまちづくりに関心やきっかけを感じられる協働の拠点として情報の収集及び提供、起業等に関するセミナーの開催を行った</p>	<p>コミュニティビジネスに関する情報提供及び起業・運営に関する相談等を引き続き支援を行っていく</p>
<p>(4)地域の買物環境の整備</p> <p>今後の人口減少、少子高齢者といった地域の実情、消費者ニーズ、事業者の経営環境等の実態を把握するとともに、関係機関と連携し、地域の買物環境の整備に向けた検討を進めます。</p>	<p>地域の買物環境の整備</p> <p>【地域の実情、民間の移動販売、配送サービス等の状況の把握】</p> <p>H29～R02 厚田区、浜益区、八幡、高岡、本町地区等への民間による定期的な移動販売、店舗による高齢者等への配送サービス</p> <p>【買物弱者への支援】</p> <p>H29～R02 70歳以上の高齢者への福祉利用割引券交付事業及び重度障がい者への福祉タクシー助成事業の実施</p>	<p>引き続き地域のニーズの把握に努めていく</p>

令和2年度新型コロナウイルス感染症対策の取組状況について

小規模事業者事業継続緊急支援事業交付金	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年2月から4月までのうち連続する2ヶ月間の売上合計額が、前年同期比で50%以上減少している従業員5名以下の小規模事業者に対し、20万円を支給 ・受付期間：令和2年4月～5月 ・支給件数：294件 ・支給実績：58,800,000円
休業協力・感染リスク低減支援金	令和2年4月25日以降の北海道の休業要請等に協力する事業者に対し、北海道の支援金に上乗せして20万円を支給 ・受付期間：令和2年5月～10月 ・支給件数：146件 ・支給実績：29,200,000円
商店会等新型コロナウイルス感染拡大防止補助金	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、石狩商店会連合会が取り組む感染症対策（PRのためのポスター等の作成、会員へのマスク・消毒液配布）への支援を実施 ・実施期間：令和2年6月～7月 ・支給実績：3,000,000円
雇用調整助成金等申請費用補助金	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、雇用調整助成金又は緊急雇用安定助成金の支給申請を行った市内の事業所が、助成金の申請事務を社会保険労務士等に依頼した場合、その費用を補助（上限20万円） ・受付期間：令和2年7月～令和3年3月 ・支給件数：28件 ・支給実績：3,797,000円
市内飲食店緊急応援事業交付金	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛やイベント・宴席の中止などにより、多大な影響を受けている飲食店を対象に、感染防止対策の意識向上及び資金繰りの改善並びに利用促進を目的として、飲食店で販売する飲食チケット（プレミアム率40%）の発行経費を補助。 ・1冊7,000円（1,000円券×7枚）のチケットを5,000円で販売 ・発行数：9,137冊 ・参加店舗数：76店 ・利用期間：令和2年7月23日～10月31日 ・補助実績：18,274,000円（プレミアム分）
プレミアム付商品券発行事業	新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている市内事業者全体の経済の活性化を図るとともに、地域における消費を喚起するため、プレミアム付商品券（プレミアム率30%）を発行 ・1冊6,500円（500円券×13枚）の商品券を5,000円で販売 ・商品券13枚のうち4枚（2,000円分）を小規模店でのみの利用に限定 ・販売数：96,675冊 ・利用期間：令和2年11月2日～令和3年1月31日 ・既利用額：627,521,000円〔うちプレミアム分 144,812,538円〕 大型店利用分：336,863,500円（53.7%） 中小店利用分：290,657,500円（46.3%）

<p>中小企業特別融資貸付金利子補助金</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている市内事業者の既往債務の負担軽減を図るため、令和元年度までに借入れた石狩市中小企業特別融資に対する利子補助率を通常分（0.5%）に最大1.7%を上乗せすることで実質無利子とした</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要件：令和2年2月から令和3年3月の期間のうちいずれか1か月間の売上高が10%以上減少 ・R2補助実績：コロナによる影響分 96件 4,197,318円
<p>酒類提供飲食店等事業継続緊急支援金</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、大人数の会食、忘年会及び新年会の自粛などにより多大な影響を受け、令和2年11月から令和3年1月までのうち、いずれかの月の売上高が前年同期比で50%以上減少している「酒類を提供する飲食店」、「飲食店に飲食料品等を直接販売している卸・小売事業者」、「タクシー・運転代行業者」に対し、30万円（100席以上の飲食店は60万円）を支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付期間：令和3年2月～3月 ・支給実績：107件（飲食71件、卸小売3件、タクシー等33件） ・支給実績：34,200,000円
<p>住宅リフォーム工事費補助金</p>	<p>「新しい生活様式」を取り込むための居住環境の向上や、地域経済の活性化を図り、市内事業者の雇用を維持するため、住宅をリフォームする方に対し、工事費の一部を補助する。税抜き50万円以上の工事をする場合、工事費の20%、最大20万円を補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付期間：令和2年6月～令和3年2月 ・支給件数：167件 ・支給実績：29,724,000円